

川崎市史市制100周年記念版 第6回編集懇談会

議題2：書名の検討について

令和7年9月24日

そもそもの…

川崎市史市制100周年記念版とは

親しみやすく、手に取りやすい

「新しいかたちの川崎市史」 （川崎の歴史の本）

制作目的

- 川崎市制100周年を記念して、川崎市を「知って、関わって、好きになってもらう」ことを目指し、令和6年度から3年間をかけて、新しいかたちの川崎市史を制作
- **親しみやすく、手に取りやすいもの**
- **川崎市の歴史や文化を知ってもらい次世代につなげるもの**
- **市民に制作プロセスに関わってもらう**

ターゲット

- **幅広い世代**に読んでもらえる内容
- **若い世代、子育て世代をメインターゲット**
- 小学生（高学年）～高校生が読むこともできるよう配慮

分かりやすく・伝わるもの

- 写真・イラストなどを効果的に組み合わせた紙面
- 子どもが読んでも難しすぎず、大人にも読みごたえのある内容
- 知りたい、知ってもらいたいテーマや時代を中心に掲載

制作プロセスの重視

- 掲載テーマなどの選定過程でワークショップやアンケートなどを通じ市民意見を反映
- さまざまな経験・知見を持つ方の意見を取り込む編集懇談会を開催

デジタルの活用

- デジタル版で制作（冊子版も制作）
- 制作過程の見える化・情報発信（SNS等の活用）

市民意見を本に取り入れるための取組み（令和6・7年度）

confidential

1. アンケートの実施（令和6年度 11月開催／令和7年度 10・11月開催予定）

- ・令和6年11月に緑化フェア等の会場でパネルアンケートを実施（2,638件の意見を聴取）
- ・深掘りする自由記述のWebアンケートを実施（434件の意見を聴取）
⇒市民の思う「川崎らしさ」や、「川崎の歴史のイメージ」、「読みたいテーマ」の傾向を把握

2. 編集懇談会の開催（令和6年度 4回開催／令和7年度 5回開催予定）

- ・さまざまな経験や知見をもつ委員が構成案に対して意見交換
- ・アンケート結果を集約した構成案に対してアイデアや意見をいただいた
- ・本のデザインに対してアイデアや意見をいただいた

3. ワークショップの開催（令和7年1月・2月に開催／令和7年7月に開催）

- ・市民同士がアイデアを出し合う場で、「川崎らしさ」「興味深い歴史テーマ」等を意見交換
⇒川崎にしかない！本書でしか語れない！「激狭テーマ史」をアウトプット
書名案（川崎のキャッチコピー）を企画・検討
- ・小学生記者が市内の人物や場所を取材し、取材結果を発表
⇒取材内容は、「新しいかたちの川崎市史」の記事に掲載

市民の意見を取りいれて、決定した構成案

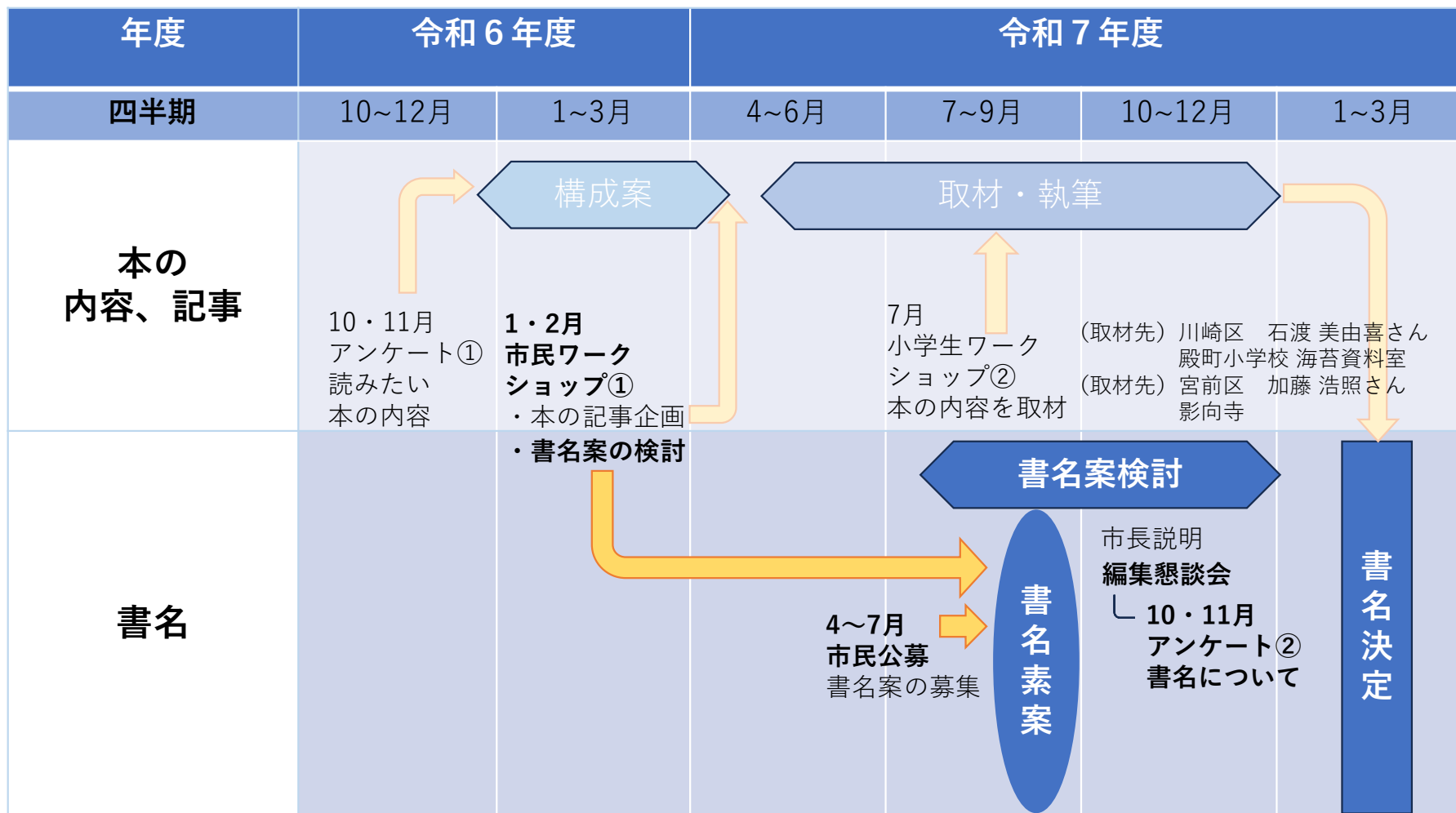
confidential

No.	構成案	コンテンツの概要
1	めくってわかる 川崎市の100年	ページをめくって、100年間の川崎の地図を重ね合わせ、 移り変わりを追う
2	かわさき定点観測 -100years-	7区の歴史を「場所ごと」に「写真」で振り返る
3	いつだって、川崎は 【川崎テーマ史】	メインテーマ18篇ごとに、歴史や文化を深掘り テーマ例：多摩川、スポーツ、文化、食、工業、多様性
4	人からわかる、川崎の歴史（仮）	編集懇談会委員の意見を元に7区それぞれから人選予定 人物への取材を通して、背景にある歴史や文化を浮き彫り
5	市民が考えた！ 川崎【激狭】テーマ史	テーマ史より更にミクロに物事の歴史や文化を深掘り 市民ワークショップから川崎らしいアイデアを元に選定
6	地図で感じる 歩きたくなる川崎史	本を持って、まち歩きをしたくなるコンテンツ
7	数字で振り返る 川崎の100年	数字による、川崎の歴史や川崎らしさの提示
8	川崎の年表 ～自分や家族のできごとを書いたのしむ～	テーマ史とリンクさせて通史的に整理する年表コンテンツ 興味のある事項を追える、日本史と並記など工夫を凝らす
9	かわさき市民百景	市民から、市内各所や建物などの写真を募集し、 モザイク画のように1つの絵にする

書名の検討について

confidential

書名決定までの流れ



書名の検討について（市民アイデアの収集）

confidential

書名の検討に当たり、2つの方法で市民アイデアを収集

1つは市民ワークショップで書名案の検討、もう1つは市民公募で書名案を募集

（1）市民ワークショップでの書名案（川崎のキャッチコピー）の検討結果

No.	ワークショップでの書名案	概要
1	155万通りの愛の街	人口や規模が大きい様子、個性や特徴が多様な様子
2	キャラ155万の街	
3	ヒストリーよりミステリー	歴史から謎かけ
4	川崎って何だ？	自分たちのまちにはどのような歴史があるかの問いかけ
5	川崎ははじめからひとつだった	意外と感じる歴史的な事実で引き付ける
6	カワサキカラー	多彩な、多様な様子を色で表現
7	知ろう、そしてつながろう川崎	7区を知って、ひとつにつなげたい

※ワークショップ概要

ア 実施時期 令和7年1月25日、2月1日及び8日（全3回）

イ 参加者 市内在住の市民（10代～70代）15名

ウ 参加方法 市ホームページからWEBフォームにて事前申込み

書名の検討について（市民アイデアの収集）

confidential

（2）市民公募での書名案の募集結果

応募総数 497件

※募集概要

ア 期 間 令和7年4月30日～7月20日

イ 募集内容 書名案及び本の内容についてのアイデア

ウ 媒 体 市ホームページからWEBフォームにて投稿（自由記述式）

エ 周知方法

- ①公文書館の近隣中学校への個別依頼（西中原中学校及び宮内中学校）
- ②インターネットへの発信（市公式X、市公式LINE、イベントアプリ、市HP、教育委員会HP、SDGsメールマガジン）
- ③広報媒体の活用（かわさきFM、ラジオ日本、ししる特別号）
- ④庁内外周知（デジタルサイネージ、ぐるかわ掲示板、市立小・中・高等学校（全校）日本民家園、川崎宿大学、稲田郷土史会、川崎郷土研究会等）
- ⑤編集懇談会委員の協力



周知チラシ、ポスター

書名の検討について（市民アイデアの分析）

confidential

（3）書名案の傾向の分析結果

ア 使用頻度の高いキーワード

順位	キーワード	件数
1	川崎	298
2	歴史	136
3	100年	119
4	街	59
5	物語	51
6	見る、知る	50
7	私たち、みんな	46
8	好き、愛	42
8	未来	42
10	本	22

イ 市民の書名に対する思い

- ① 「街」や「物語」から川崎への愛着や誇りを表現したい。
- ② 「知る」ことの楽しさ、喜びを表現したい。
- ③ 「過去」から「未来」につなげたい。

書名の検討について（書名素案の提示）

confidential

2つの方法で収集したアイデアの分析結果を踏まえた書名素案
（本の趣旨と書名案の傾向を踏まえ、引用又は表現を一部変更）

	書名素案	
	主題	副題
1	カワサキノキセキ	155万通りのストーリー
2	カワサキってなに？	みんなの川崎市史
3	知ってる？知ってた？かわさき	みんなが好きになる歴史の本
4	カワレキ	わたしたちがつなぐ川崎の歴史
5	ナナイロノマチ -カワサキ-	市民とつむぐ川崎の歴史の本
6	川崎はひとつだった！	みんなが知りたい川崎のキセキ

※上記から3案程度に絞り、アンケート投票を実施し、書名を決定

前ページにお示した書名素案を3案程度にしぼり

市民を対象にしたアンケート投票を実施します

- お示した書名候補案（前ページの、主題6案×副題6案）は本のコンセプトや構成、デザインとよく関連づいているでしょうか？
- どの書名案がふさわしい（もしくは好き）とお感じになりますか？

感想や、その書名を推される理由をお話くださいませ！